

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	言語文化	3	1年次	齊藤裕子・佐々木千春			
選択するときの条件	1年次に全員共通履修						
使用教科書	(第一学習社) 高等学校 言語文化	使用副教材	(第一学習社)「高等学校 言語文化 学習課題集」 (数研出版)「改訂版 プレミアムカラー 国語便覧」 (桐原書店)「基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版」 「同 演習ノート」 (尚文出版)「必携 句法と語彙を一緒に学ぶ 新明説漢文」 「同ノート 修訂版」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			言葉を通して、人間と人間との関係の中で互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1	古文入門	◎	◎	○			◎
2	文語文法	◎	◎	○		○	○
3	歌物語		○	○	○		
4	随筆		○	◎		◎	
5	日記		○	○	○	◎	
6	古典の詩歌	◎		○	○	◎	
7	近現代の詩歌	◎		○	◎		
8	近現代の詩歌	◎		○	◎		
9	漢文入門	◎	◎	○		○	◎
10	故事成語		○	◎		◎	
11	漢詩	◎	◎	○	◎	◎	○
12	思想			◎	○	◎	
13	文章			○			
14							
15							
16							
17							
18							
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。定期考査では「知識技能」を、授業・課題への取組および提出物により「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」を評価します。						
	A: 目標に対する到達度が70%~100% B: 目標に対する到達度が45%~69% C: 目標に対する到達度が0%~44%						
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査		
	知識・技能	○	○		◎		
	思考・判断・表現	○	○	◎	○		
主体的に学ぶ態度	◎	◎	○				

言語文化 授業計画

授 業 計 画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省		
前 期	4 (8)	古文入門 古文の学習 児のそら寝 (宇治拾遺物語)	1 古典の世界に親しむことの意義を知る。 3 古典の文章に慣れ、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	音読・内容理解 歴史的仮名遣い・音読・内容理解	1 3		
	5 (12)	古典文法① 古文入門 なよ竹のかぐや姫 (竹取物語)	8 古典文法の基本的な仕組みを理解する。 7 千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。	文・文節・単語の区別 品詞の区別 用言 (動詞・形容詞・形容動詞)・係り結び 音読・内容理解・口語訳・用言確認	2 6 7		
	6 (11)	歌物語 芥川 (伊勢物語) あづさ弓 (伊勢物語)	6 話中の和歌の役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 6	音読・口語訳・内容理解・用言確認・和歌の修飾 助動詞 (過去・完了・打消)	6 6		
	前期中間考査 (1)						
	7 (7)	漢文入門 漢文に親しむ 故事成語 漁夫之利 狐借虎威	漢文を読む意義を知る。 3 訓読・返り点について理解する。 2 漢文の訓読に慣れ、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 3	返り点・訓読・書き下し・口語訳 返読文字・再読文字 音読・書き下し・口語訳・背景 句法 (否定・禁止・使役・反語)	2 1 5 5		
	8 (6)	古典文法② 随筆	5 古典文法の助動詞について理解する。 2 随筆を読み、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 3	助動詞 (意味・接続・活用) 音読・口語訳・内容理解 用言確認・助動詞 (完了・打消・推量・断定)	5 5 3		
	9 (9)	日記 門出 (土佐日記) 漢詩 漢詩のきまり	4 わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 1 漢詩のきまりを理解する。	禁止の句法 音読・口語訳・内容理解・和歌の理解 助動詞 (意志・伝聞・存続)・音便・不可能 詩型・押韻・対句	4 4 1		
	前期末考査 (1)						
	後 期	10 (12)	漢詩 唐詩の世界 四～五編選択 随筆 ある人、弓射ることを習ふに (徒然草)	6 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 3 作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く	訓読・音読・書き下し・口語訳 内容理解・鑑賞 音読・口語訳・内容理解 助動詞 (推量・意志・婉曲)・用言の確認 (形容詞・形容動詞)・敬語	6 6	
		11 (10)	九月二十日のころ (徒然草) 古典の詩歌 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 古典の和歌を現代の言葉で書き換える	3 7 和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期・発展期・成熟期の和歌のそれぞれの特色を捉える。 1 作品中のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	音読・五七調・七五調・枕詞・序詞・本歌取り 現代語の和歌への書き換え	3 7 1	
		近現代の詩歌 蝨のうへ 自分の感受性くらい I was born	2 文語詩の特徴を理解し、作者の心情を捉える。 2 作品に託されたメッセージを読み取る。 2 「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。	文語詩の鑑賞・音読・内容理解 現代詩の鑑賞・音読・内容理解 散文詩の鑑賞・音読・内容理解	2 2 2		
12 (10)		思想 論語	3 『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。	訓読・音読・書き下し・口語訳・内容理解	3		
後期中間考査 (1)							
1 (6)		古典の詩歌 旅立ち (奥の細道)	5 俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。	音読・口語訳・俳諧の鑑賞・漢文の影響・対句表現	5		
2 (8)		文章 桃花源記	5 漢文の散文作品に触れ、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。	訓読・音読・書き下し・口語訳・内容理解	5		
後期末考査 (1)							
		近現代の詩歌 その子二十	5 短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	音読・口語訳・作者について・鑑賞	5		
3 (7)		古典文法③	7 敬語文法の定着と語句の識別を理解する。	例文読解・演習	7		